

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 新潟県立燕中等教育学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
住所 〒959-1201
新潟県燕市灰方815
E-mail : school@tsubame-ss.nein.ed.jp
Website : <http://www.tsubame-ss.nein.ed.jp/>
児童生徒数：男子 164名 女子 293名 合計 457名
児童・生徒の年齢 12歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

A. 『総合的な学習の時間』

1) ユネスコスクール講演会（全校生徒）

平成28年4月23日（土）に新潟大学大学院 田村 優様から講演をいただき、モザンビークでの教育活動の経験や海外支援事業の問題点について学んだ。

2) 全校ウォーク（全校生徒）

1学年から6学年までの生徒全員が地域で長距離のウォークを行い、地域や環境について学んだ。

3) 鋳起銅器製作体験（前期1年生）

燕市の伝統工芸である鋳起銅器製作の体験をとおして、地域の伝統文化、職業観、勤労観を養った。

4) エネルギー学習（前期1年生）

発電所を見学し、説明を聞くことで、エネルギーについて学んだ。

5) つくば科学の旅（前期1年生）

筑波学園都市にて筑波大学、JAXA を訪問することにより、地域、科学観、宇宙、日本の技術力について学んだ。

6) 種子島修学旅行（前期2年生）

種子島にて民泊を行い、種子島宇宙センターを訪問することにより、地域、伝統文化、宇宙、日本の技術について学んだ。

7) 職場体験（前期2年生）

地元燕市企業でインターンシップ活動を行うことで、地域、職業観、勤労観について学び、将来の生き方や進路についての考察を深めた。

8) 大学見学（前期3年生、後期4年生、後期5年生）

大学見学を行うことで、大学進学的重要性について学んだ。

9) 県内大学留学生ふれあい事業（前期3年生、後期5年生）

英語が堪能な新潟大学の中国人留学生2名に年間複数回来校していただき、中国に関する情報や日本文化の印象を話してもらった。また、3年生は日本文化を留学生に英語で伝える活動を行い、表現方法について助言をいただいた。5年生は、中国、日本及び世界が抱えている社会問題について生徒と議論していただき、その解決策や将来自分たちが果たすべき役割について意見交換を行った。

10) 海外研修（後期4年生）

オーストラリアでの10日間の研修で、現地生徒との交流、ホームステイを経て、国際文化理解、外国語学習を深めた。

<資料> 平成28年 総合的な学習の時間 全体計画

総合的な学習の時間の名称

ライフスタディー

学校の教育目標

地域に立脚しつつ地球的視野で活躍できる人材の育成

総合的な学習の時間の目標と具体的な方針

- 地元の素材を活用し、身近なものを通じて「生（生きる・ライフ）」について学習する。
- 日本、世界へと幅広い視野、考え方をもたせる。
- ユネスコスクールに加盟し、ユネスコの理念に基づき、活動や価値観を共有する。

総合的な学習の時間において、育てようとする資質や能力及び態度

学習方法に関すること	自分自身に関すること	他者や社会とのかかわりに関すること
<ul style="list-style-type: none"> • 問題状況をふまえて適切な課題を設定することができる。 • 必要な情報を広い範囲から迅速かつ適切に収集し、多角的に分析できる。 • 相手や目的・意図に応じて、適切に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自らの行動を振り返ったり、自分自身を客観的に理解することにより、将来を見据え、より良い自分を目指し日常的に努力することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 互いに認め合い、尊重し合い、学び合うことができる。 • 主体的、創造的、協同的に行動することができる。

内容

学習課題	学習対象	学習事項	目標	具体的方策	時期		
Life 命 (命の尊さ、自己の適性や能力発見) 人生 (未来に向かって、生き方・在り方を考える)	生き方・進路 互いを尊重する態度、協同的な態度 地元の環境・産業・文化・歴史 ↓ 自然科学	自分 の あり 方 ・ 生 き ぎ	性(生)に対する正しい理解 人権に対する正しい理解・態度 ボランティアの意義や態度 交通安全に対する理解 DV等の問題に直面したときの対応への理解 薬物に対する正しい理解	性に関する講演会	1～6年		
		職業観 ・ 自己の発見 ・ 自己実現の探 ・ 学ぶ意味、楽しさ、意義		今後直面するであろう様々なこと、問題に対して、正しく理解しより良く生きることができるようになる。	進路講演会 進路探求 大学講義体験 大学訪問 (新潟大学、東北大学等) 職場体験	1～6年 1～6年 3、4年 1～5年 2年	
		自然の大切さ、自然との共生 地元の産業の理解、職業観 地元の産業・文化の理解、職業観 環境、食、地元の産業の理解 エネルギー問題、環境対策 自然の大切さ、自然との共生		互いに認め合い、尊重し合い、学び合う態度を醸成する。	新入生刈エネーション 地域の人材に学ぶ講演会 地域文化学習(鎗起銅器) 農業体験 エネルギー学習 全校ウォーク つくば科学の旅	1年 1年 1年 2年 1年 1～6年 1年	
		自然科学、環境問題		地元の環境から、より広い視野での環境について考えることができるようになる。	修学旅行(種子島)	2年	
		国際理解		自国および他国の言語や文化を理解し、それを尊重する態度を養う。	国際理解講演会 海外研修旅行	1～6年 4年	
		社会への興味・関心の喚起と社会と能動的に関わる姿勢の養成。			「全ての教室に新聞を」	1～6年	

(ユネスコスクールとの関連)

本校はユネスコスクールに加盟している。総合的な学習の時間においては、ユネスコの理念に基づき、生徒一人ひとりが今取り組んでいることが地球で起きている問題に何らかの寄与をすること、さらにはその活動が他校のユネスコスクールの仲間と情報共有をすることで国際的に働きかけていることを理解し、未来に向けて継続的に活動してゆく学習姿勢を醸成する。

B. 上記以外

1) ユネスコ世界寺子屋プロジェクトへの参加（全校生徒）
書き損じハガキを募り、全校生徒が協力した。

2) 留学生受入れ

平成 28 年 5 月から 6 月にかけての 19 日間 6 名のオーストラリアからの交換留学生を受け入れることで、国際文化理解、外国語学習を深めた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）